

エスケープシーケンスとはなんですか？

EDBにおける「エスケープシーケンス」とは、プレーンテキストによる文字列のみでは表現が難しい、もしくは解りづらい情報のために用意された特別な記法です。

エスケープシーケンスを用いることで、上付き文字や下付き文字を表現したり、数式の表現、画像の貼り付け等が可能になります。

エスケープシーケンスは、

- プレーンテキストでは表現しにくい意味をテキストに付加する
- EDBにおける他の情報を参照する
- エスケープシーケンスの制御を回避する

という目的で用意されています。エスケープシーケンスを用いることにより、情報の出力先（ウェブブラウザで閲覧するHTML出力やPDF出力等）によっては、フォントやグリフがふつうのプレーンテキストとは異なったものとして表現されることがあります。しかし、エスケープシーケンスは上記の目的で用意されたもの

なので、**単なる文字修飾のために用いるべきではないことをご理解ください。**

エスケープシーケンスは、

- バックスラッシュ（ /U+005C ）で始まる
- バックスラッシュの次の一文字が意味を表す
- 引数が必要な場合は中括弧{ }で囲む

といった決まりがあります。

「 / 」は環境によっては円マークが表示されているかもしれませんが、円マークではなく「バックスラッシュ」です。

現在定義されているエスケープシーケンスは次の通りです。

Character	Mean	Argument	Description
/	Backslash	(none)	バックスラッシュそのものを表現したいときに用いる。逆に言えば、このエスケープシーケンスを用いなければバックスラッシュを登録できない
{	Open bracket		エスケープシーケンスの中で {や} を引数を囲むための指定文字ではなく、単なる文字として扱いたいときに用いる
}	Close bracket		
^	Superscript	text	引数に指定した文字を上付き文字として表現する（ 上付き文字、下付き文字を入力するにはどうすれば良いですか？ ）

EdbAssistance

	Subscript		引数に指定した文字を下付き文字として表現する（上付き文字，下付き文字を入力するにはどうすれば良いですか？）
M	Mathematical formula		引数に指定した文字列が数学記号，数式であることを表現する．またはすでに数式モードになっている場合 数式を登録するにはどうすれば良いですか？
C	Character		特定の文字を表現する
D	Deleted text		引数に指定した文字列が削除されたテキストであることを明示する
I	Inserted text		引数に指定した文字列が挿入されたテキストであることを表現する
P	Picture	EID	画像テーブルに登録されている情報EIDを引数とすることで，そのEIDを持つ画像を貼り付ける
N	Technical name	text	引数に指定した文字列が学名であることを表現する
L	Line feed	(none)	文章の表現上，改行を挿入した方が見やすくなることを指示する．ただし，すべての出力系で必ず改行が挿入される保証はない．また，カラム（項目）の型がPARAGRAPHのとき（編集画面において広いテキストエリアが表示される項目）のみ考慮される

引数が必要なエスケープシーケンスは

`\M{x}`

のように入力し，引数が必要ないエスケープシーケンスは

`\L`

のように入力します．

EdbAssistance

製作者: EDB Working Group
最終更新: 2010-04-20 12:52